2017年（平成29年）11月29日（水曜日）

「第2の意見」専門医紹介

リーズンホワイ、3000人協力

医療IT（情報技術）会社のリーズンホワイ（東京・港、塩飽晋生社長）は2018年春、セカンドオピニオンを求める患者への医師紹介サービスを始める。同社の交流サイト会員である3000人の医師がサービス基盤となる。ただ、利用者を増やすには価格引き下げが課題だ。

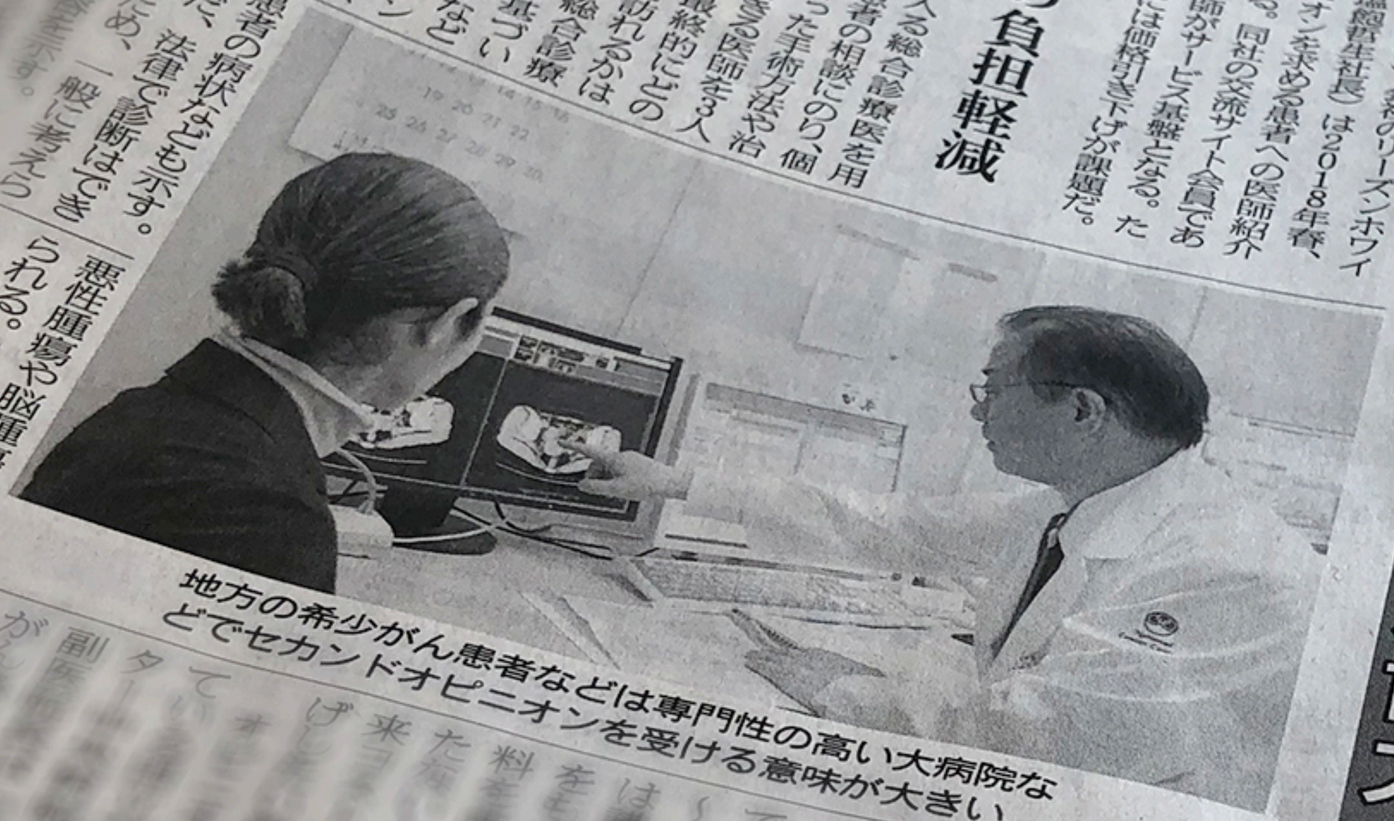
医師探しの負担軽減

同社は医薬品の副作用など互いの情報を交換する医師限定サイト「ホワイトリンク」を運営し、外科や循環器系、呼吸器系などさまざまの領域の専門医が登録している。これらの医師が、セカンドオピニオンにふさわしい医師を提案する。

サービスを利用するには、患者は基本的に、主治医にセカンドオピニオンのための紹介状を書いてもらう。例えば手術

患者の病状などを示す。ただ、法律で診断はできないため、一般に考えられる可能性を示す。

悪性腫瘍や脳腫瘍が挙げられる。セカンドオピニオンは米国で始まり、日本は



地方の希少がん患者などは専門性の高い大病院などでセカンドオピニオンを受ける意味が大きい

同社は医薬品の副作用など互いの情報を交換する医師限定サイト「ホワイトリンク」を運営し、外科や循環器系、呼吸器系などさまざまの領域の専門医が登録している。これらの医師が、セカンドオピニオンにふさわしい医師を提案する。

サービスを利用するには、患者は基本的に、主治医にセカンドオピニオンのための紹介状を書いてもらう。例えば手術

患者の病状などを示す。ただ、法律で診断はできないため、一般に考えられる可能性を示す。

悪性腫瘍や脳腫瘍が挙げられる。セカンドオピニオンは米国で始まり、日本は

医師のもとを訪れるかは患者が決める。総合診療医に、論文などに基づいてどの医師がいいかなどを提示したホワイトリンクの会員医師にはリーズンホワイが報酬を出す。総合診療医は患者に対して

医師のもとを訪れるかは患者が決める。総合診療医に、論文などに基づいてどの医師がいいかなどを提示したホワイトリンクの会員医師にはリーズンホワイが報酬を出す。総合診療医は患者に対して

に入る総合診療。患者の相談にのり、個人に合った手術方法や治療法ができる医師を3人ほど選ぶ。最終的にどの医師のもとを訪れるかは患者が決める。総合診療医に、論文などに基づいてどの医師がいいかなどを提示したホワイトリンクの会員医師にはリーズンホワイが報酬を出す。総合診療医は患者に対して

を提供する。例えば手術

患者の病状などを示す。ただ、法律で診断はできないため、一般に考えられる可能性を示す。

悪性腫瘍や脳腫瘍が挙げられる。セカンドオピニオンは米国で始まり、日本は